

<スーパーを営む M 社の 1 年間の仕訳をしなさい。>

- ① 平成 30 年 4 月 1 日、スーパーをはじめるために、株主より 2,000,000 円の出資を受けるとともに、銀行から 1,000,000 円の借り入れを実行し、普通預金に全額預け入れた。

- ② 平成 30 年 4 月 1 日、備品 300,000 円を購入し、代金は翌月末に支払うこととした。

- ③ 平成 30 年 5 月 1 日、建物 1,000,000 円を購入し、仲介手数料（付随費用）100,000 円とともに翌月末に支払うこととした。

- ④ 平成 30 年 5 月 5 日、ジャガイモ農家に対し、仕入代金の前払いを行い、現金で 500,000 円支払った。

- ⑤ 平成 30 年 5 月 20 日、ジャガイモ農家より、ジャガイモ 800,000 円を仕入れ、前払いしていた残額については、掛けとした。
- ⑥ 平成 30 年 5 月 21 日、⑤で仕入れたジャガイモに傷や品違いがあったため、ジャガイモ農家に連絡したところ、20,000 円の値引きと、80,000 円の返品を行う（掛けの減額）ことで合意した。
- ⑦ 平成 30 年 5 月 30 日、（普通預金）通帳に内容不明な入金 20,000 円があった。
- ⑧ 平成 30 年 5 月 31 日、②の机を 240,000 円で X 社に売却し、代金は翌月受け取ることにした。（減価償却方法は考えなくてよい）

- ⑨ 平成 30 年 7 月 1 日、Y 社社債を 1 口 97 円（額面は 100 円）
で 100 口購入し、証券会社への支払手数料 300 円とともに現金
で支払った。
- ⑩ 平成 30 年 8 月 1 日、⑨で購入した Y 社社債のうち、30
口を、1 口 150 円で M 社に売却し、代金を D 社振出小切手で
受け取った。なお、売却の際に、売却手数料 400 円を現金で支
払った。
- ⑪ 平成 30 年 9 月 1 日、P 社に、600,000 円を年利 2 % で貸付
け、小切手を振り出した。
- ⑫ 平成 30 年 11 月 30 日、⑤の貸付金全額を利息とともに
きじつまえ
期日前回収した。

- ⑬ 平成 31 年 1 月 10 日、印紙税 5,000 円、固定資産税 2,000 円、社長の所得税 1,000 円をすべて現金で納付した。
- ⑭ 平成 31 年 1 月 12 日、1 m² 100 円の土地を 500 m² 購入し、仲介手数料 10,000 円とともに、現金で支払った。
- ⑮ 平成 31 年 1 月 16 日、⑭の土地のうち、200 m² を 1 m² あたり 130 円で K 社に売却し、代金は翌月末に受け取ることにした。また、売却手数料 1,000 円については、現金で支払った。
- ⑯ 平成 31 年 3 月 31 日（決算日）、③で購入した建物の減価償却費を計上する。なお、耐用年数は 4 年、残存価額は取得価額の 10%、償却方法は定額法とする。（間接法）
- ⑰ ⑦については、決算日まで原因が不明だったため、取り崩し処理を行った。

＜資産は A、負債は B、収益は C、費用は D、資本は E

を書きなさい＞

- ・ 商品 ()
- ・ 仮払金 ()
- ・ 仮受金 ()
- ・ 支払利息 ()
- ・ 有価証券利息 ()
- ・ 受取利息 ()
- ・ 仕入 ()
- ・ 借入金 ()
- ・ 未収入金 ()
- ・ 未払金 ()
- ・ 火災損失 ()
- ・ 盗難損失 ()
- ・ 貸付金 ()
- ・ 租税公課 ()
- ・ 修繕費 ()
- ・ 固定資産売却損 ()
- ・ 有価証券売却損 ()

- ・ 雜損失 ()
- ・ 雜收入 ()
- ・ 受取手形 ()
- ・ 現金 ()
- ・ 普通預金 ()
- ・ 当座預金 ()
- ・ 商品売買益 ()
- ・ 資本金 ()
- ・ 受取配当金 ()
- ・ 有価証券 ()
- ・ 土地 ()
- ・ 建物 ()
- ・ 備品 ()
- ・ 支払手数料 ()
- ・ 旅費交通費 ()
- ・ 前払金 ()
- ・ 前受金 ()
- ・ 繰越商品 ()